

佐藤壽三郎の議員活動報告詳報

ことぶき月報 (No.191) 2014年8月号

終世書生気質: ブログ・千曲のかなた
<http://zyusaburo.blog.fc2.com/>

【須坂市議会9月定例会に向けて】

1. 監査委員は須坂市の決算審査報告書を市長に提出しました

須坂市代表監査委員鰐川晴夫と議選監査委員佐藤壽三郎は連署して、平成 26 年 8 月 22 日三木正夫市長に対して、平成 26 年 7 月 2 日から 7 月 22 日にかけて執行した平成 25 年度決算審査を取りまとめた「平成 25 年度須坂市一般会計・特別会計歳入歳出決算及び基金運用状況審査報告書並びに財政健全化審査意見書」を面談のうえ手渡しで提出しました。

決算審査報告書の内容並びに各会計の評価の概要は以下のとおりです。

【平成 25 年度一般会計及び特別会計の歳入歳出一覧】 (千円)

会計別	歳入	歳出
一般会計	219 億 7658 万 1 千	210 億 3731 万 5 千
特別会計	99 億 2952 万 0 千	97 億 1844 万 3 千
国民健康保険	55 億 0412 万 3 千	54 億 2196 万 2 千
井上外 3 町財産区	1234 万 3 千	1173 万 1 千
介護保険	39 億 0413 万 9 千	37 億 7618 万 9 千
後期高齢者医療	5 億 0891 万 4 千	5 億 0855 万 9 千
一般・特別総合計	319 億 0610 万 1 千	307 億 5575 万 9 千

(1) 一般会計

審査に付された各会計歳入歳出決算及び附属書類並びに基金の運用状況を示す書類と健全化判断比率及びその算定の基礎となる事項を記載した書類は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、その決算の計数は関係諸帳簿と符号して正確であり、また、予算の執行は適正であるものと認められた。

財政健全化については、健全化判断比率のうち、実質赤字比率、連結実質赤字比率は発生をしていない。また、実質公債比率は 8.2%で 3 年連続低下し、平成 22 年度から上昇傾向にあった将来負担比率は 27.5%で前年度に比較し 8.9%低下している。このことは、早期健全化基準を下回り、財政運営上の問題はないといえる。

一般会計における前年度対比では、歳入決算額で 1.07%の増、歳出決算額で 0.39%の減であり、特別会計における対比は、歳入決算額 1.97%の増、歳出決算額 5.16%の増である。一般会計・特別会計合計の対比では、歳入決算額 1.35%の増、歳出決算額 1.30%の増となっている。

(2) 特別会計

① 国民健康保険特別会計

国民健康保険特別会計の予算現額は 5,516,113,000 円で、前年度と比較すると

198,258,000円、率にして3.73%の増加となっている。

② 井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計

井上、幸高、九反田、中島財産区特別会計の予算現額は11,792,000円で、前年度と比較すると4,443,000円(60.46%)の増加となっている。

③ 介護保険特別会計

介護保険特別会計の予算現額は3,899,763,000円で、前年度と比較すると156,205,000円(4.17%)の増加となっている。

④ 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の予算現額は508,978,000円で前年度と比較すると27,833,000円(5.78%)の増加となっている。

(3) 水道・下水道・宅地造成事業等の企業会計収入・支出一覧 (千円)

区分	事業	水道事業会計	下水道事業会計	宅地造成事業会計
	収益的収入決算額	12億5075万7千	18億2908万5千	246万1千
	資本的収入決算額	1億4261万2千	8億6776万0千	0円
	合計	13億9336万9千	26億9684万5千	246万1千
		3企業会計収入総合計	40億9267万5千	
区分	事業	水道事業会計	下水道事業会計	宅地造成事業会計
	収益的支出決算額	11億3442万4千	16億6954万9千	225万0千
	資本的支出決算額	6億8138万3千	15億4573万2千	0円
	合計	18億1580万7千	32億1528万1千	225万0千
		3企業会計支出総合計	50億3333万8千	

1) 水道事業会計について

財務分析数値は、総収支比率は、109.5%で前年度より18.2%低く、営業収支比率も120.2%で前年度より24.5%低くなっている。また、給水収益に占める職員給与費の割合は、14.1%と前年度より2.2%改善され、経営の効率化に努めていると窺えるが、有収水量1m³あたりの供給単価と給水原価の差額は昨年より25円47銭低下し、総給水量に対する有効率・有収率も共に3.16%低下していることから配水施設の有効利用に努めるなど、今後とも一層効率化に努められたい。更に、将来の人口減少を考慮したとき、一層の経営努力が必要であると評価した。

2) 下水道事業会計について

経営分析を見ると固定比率が283.3、負債比率が190.2と減少傾向にあるにも拘わらず高率となっていることから、経営は厳しい状況にあるといわざるを得ない。事業の効率的な運営と経営の一層の健全化に努められたいと評価した。

3) 宅地造成事業会計について

上町地籍及び坂田地籍の宅地について、価格の引き下げなど苦慮されながら分譲に努力をされていることが窺え評価する。今後も残り区画の早期分譲に努め、事業の効率的な運営と経営の一層の健全化を図るよう努められたいと評価した。

2. 市監査委員職務執行状況

- (1) 8月22日、決算審査報告書を市長に提出しました。
- (2) 8月25日、例月現金出納検査を執行しました。
- (3) 8月27日～29日 平成26年度全国都市監査委員会総会・研修会に出席のため熊本市に出向しました。

I. 総会の概要

熊本市監査委員の開会の辞により幕があがり、会長都市である大阪市監査委員よりあいさつがあり、来賓として熊本市の副市長と議会副議長より祝辞を賜りました。次いで、会員表彰等を行い、議事に入り報告、平成27年度事業計画案及び歳入歳出予算案外2議案の審査が行われ、何れも原案とおりの議決して総会を終えました。

II. 研修会の概要

第1日(8月28日)

1) 研究発表

「監査の実効性の確保について」 札幌市監査委員 藤江 正祥 氏

①分析の視点

- I 重点監査項目の設定と監査の実効性。
- II 監査マニュアル・チェックリストの作成と監査の実効性。
- III 事務局レベルにおける監査対象部局長との面談機会の設定と監査の実効性。
- IV 監査対象部局への監査結果の情報提供と監査の実効性。
- V 市長への報告・説明機会の設定と監査の実効性。
- VI 内部統制に着目した監査の実施と監査の実効性。
- VII 市長部局における適正な事務処理確保に向けた取組みと監査の実効性。

②共通する課題と対策

③分析結果

について、詳細に全国の772都市監査委員から回答された、アンケート(回収率98.2%)回答の分析についての発表がなされました。

2) パネルディスカッション

「今後の監査委員監査の有り方～監査品質の向上、様々な視点から～」

進行役：大阪市行政委員会事務局長 小川 英明 氏

パネリスト：

福岡県監査委員 西南学院大学商学部教授 伊藤 龍峰 氏

青山学院大学大学院 会計プロフェッション研究科教授

町田 祥弘 氏

有限責任監査法人 トーマツ パートナー 香野 剛 氏

の皆さんの討論が展開されました。

素直に理解できる部分と、知識不足のため全く理解できない高尚な学術的論議がありましたが、東西一流の先生方の白熱した議論内容や思いを、今後の実務の中で咀嚼しながら、点の知識を線として、更に面の知識として広げ、実務に生かし応用したいと思えます。詰まる所は、行政が市民が納めた税金を消費するにあたり、一円たりとも無駄にしてはならないことだと感じるからです。

第2日（8月29日）

3) 講演

「会計検査と自治体監査の交流開始と25年の回想」

講師： 日本大学総合科学研究所教授 有川 博 教授

元会計検査院職員経歴を持たれる有川教授が、現職時代に拘わられた

- ① 関係機関との交流、法定外の実効性確保体制の概要。
- ② 地方自治体監査当局との定期協議。
- ③ 地方自治体と内部統制

等について経験を踏まえた語り口で説明され、併せて実行性のある監査委員の検査・監査・評価の手法を講演されました。

4) 講演

「熊本の魅力と政策研究」

講師：熊本市都市政策研究所長 蓑茂 寿太郎氏

講師は農学博士であり、東京農業大学教授・副学長を務められた経験から行政職員が本旨とする統治センスではなく、自然と溶け込むことを念頭に置かれた半生から「地域力時代への移行」として、

- ① 国主導から地域主導へ（個別補償金→総合交付金）
（五カ年計画→社会資本整備重点計画）
- ② 国土開発から国土形成へ（国土総合開発法→国土形成計画法）
- ③ 長期的な国土のマネジメント（整備から削減へ）
（コンパクトシティ、アセットマネジメント）
- ④ 全国土の標準化を図った時代
- ⑤ 地域に潜在する力で個性を出す時代

については、これからの変革を強いられるガバナンスセンスに、熊本市は得難い人材を得られたと感服しながら、興味をもって講義を拝聴いたしました。蓑茂氏は熊本県出身であることを考えると、現在の職責は永年培われた学績の理想の実践場に外ならないのかなと、講演を聞きながら感じ入った次第です。

3. 私の議会外議員活動

（1）市道の陥没箇所の発見と改修工事がなされました。

市道須坂温泉線（大谷町）を走行中に、市道を横断する側溝を跨いだ2カ所に、側溝が堅固なコンクリートであるために、アスファルトに陥没が生じ、車が走行の際に側溝に乗り上げるため大きな衝撃音が生ずる箇所を発見しました。
市道路河川課が陥没箇所を改修。長年放置され車走行に伴う衝撃音は解消され、近隣住民の皆さんの安眠が保たれる道路となりました。



（2）平成26年度須坂市総合防災訓練を行われました。

- ① 須坂市議会防災委員会は、須坂市主催の平成26年度須坂市総合防災訓練に先立ち、平成26年8月24日、午前5時30分に招集され、市議会議員全員が須坂

市庁舎前に集合して、市議会防災訓練を実施しました。

- ② 平成 26 年度須坂市総合防災訓練は、8 月 24 日午前 6 時より、市立常盤中学校校庭において執り行われるため、市庁舎前から訓練会場に移動しました。

常盤中学校通学区の市民の皆さん、全市の区長、須坂市消防団員、須高医師会外公的關係機関 28 団体の皆さん、市職員、市議会議員等凡そ千名の皆さん参加の下に執り行われました。

午前 6 時 20 分、避難所設置運営訓練に始まり、26 の種目に及ぶ様々な訓練が順次行われました。特に炊き出し訓練には、須坂市の企業である(株)前田鉄工所から「災害時炊き出しかまど」が提供されました。燃料は薪で一基で最大 60ℓのお湯を沸かすことが可能とのこと。このかまどが威力を発揮し「豚汁」の炊き出しが振る舞われ、更に沸かされた湯を注いで出来上がった「災害用炊き出し五目ご飯」が、炊き出し訓練に参加した皆さんに振る舞われました。

午前 7 時 35 分、平成 26 年度須坂市総合防災訓練の終了式が執り行われ、三木市長から防災訓練参加者へ御礼のあいさつと訓練の講評が行われ、その後散会致しました。

4. 8 月期で私が注目したニュースの備忘録

見出し	概要	報道機関	月日付
須坂市	空き家バンク：宅建協会と協定	信濃毎日	8/2
7 月の県内倒産	10 件 今年初の 2 桁 県内企業	信濃毎日	8/5
不登校問題	5 年連続減から一転、県内 2130 人、84 人増	信濃毎日	8/8
国の借金	1039 兆円=1 人当たり 818 万円 6 月末	信濃毎日	8/11

【北信濃鏡】 7/27 行政書士業務、湯っ蔵んど /28 総務文教委員会行政視察報告書推敲、行政書士業務 /29 監査委員例月現金出納検査、須坂温泉 /30 総務文教委員会行政視察報告書、市道須坂温泉線陳情確認 /31 市民相談、湯っ蔵んど
8/ 1 行政書士業務、市民相談、松本弁護士 /2 黒岩氏来宅、梨本村議来宅、須坂温泉 /3 誕生日 /4 中野市出向、市民相談 /5 知事選期日前投票、監査委員意見調整、理髪、暑気払い /6 決算書類案推敲、次長と協議、須坂温泉 /7 情報資料整理 /8 新聞切抜整理、情報資料整理、暑気払い /9 新聞切抜、情報資料整理、湯っ蔵んど /10 北向観音 /11 水道局長、農林課長、給食 C 所長と協議 須坂温泉 /12 税務課長、中央公民館館長と協議 /13 三会派役員協議、須坂温泉 /14 監査委員室 /15 倅帰省湯っ蔵んど /16 送盆 /17 倅戻京、新聞切抜、資料素読 /18 監査委員職務執行 新聞切抜・資料素読 /20 監査委員職務執行 /21 報告書素読 /22 市長宛決算審査報告書面談のうえ手渡提出、市民相談 /23 行政書士業務 /24 須坂市防災訓練(常盤中学校) /25 監査委員例月現金出納検査 /26 四会派研修会、長野地裁、会報研修 /27~29 全国都市監査委員総会・研修会於：熊本市 /30 市民相談、行政書士業務、支援者面談、会報編集 /31 会報印刷・配信・配布

発行日 平成 26 年 8 月 31 日

編集：発行人 須坂市議会議員(新自由クラブ) 佐藤 寿三郎

<http://www.zyusaburo.com/> fax 026-245-5673 Tel 026-245-0050 須坂市墨坂南 1 丁目(境沢町)